

スラニア凹版切手

井戸垣 俊弘

この10年間ばかりは肉筆・木版の「初日カバー」を中心に収集してきましたが、それもほぼ一段落したので最近では「切手」に軸足を移しつつあります。初日カバーと同様に切手においても制作者の熱意と息吹が感じられるものが好きで、その意味で手造り感の強い「彫刻凹版切手」に興味を持っています。今回ご紹介する「スラニア凹版切手」はその典型的なもので、10年前にはほぼ収集し終えていたのを、今回少し整理してみました。マウントを使ってリーフを作成する時間が無く、ストックリーフのままでの紹介となりましたがご容赦ください。

■ はじめに

Czeslaw Slania（チェスラフ・スラニア）はポーランド出身、主にスウェーデンを中心に活躍した凹版彫刻切手界の巨匠で、その生涯で世界30ヶ国、1,300点以上の切手を制作している（略歴参照）。

スラニアの略歴

- 1921：ポーランドのチェラズに生まれる（10月22日）
- 1950：ポーランド国立印刷局に入局
- 1960：スウェーデン郵政省に入省
- 1972：スウェーデンの「王室凹版彫刻者」を拝命
その後も多くの受賞作品を制作
- 2000：1000作目の凹版切手を制作
- 2005：ポーランドのクラコウで死去（3月17日）

スラニア作品の特徴は

- 「きわめて優れたデザインと描写力」
- 「天才的な彫刻技術」
- 「作品の各所にちりばめた遊び心」

にあり、切手以外にも紙幣や多くの著名人の肖像画作品があり、今なお世界中に多くの熱狂的なファンをもっている。

ここでは彼の名品（スラニアが自選したベスト10及び1,000作目の作品）と各国ごとの代表作、並びに複数の国にまたがる共同発行の切手の一部を紹介する。

■ スラニア切手の名品

スラニアは愛好家の間に答え、自分の作品の**ベスト10**を以下のように選んでいる（後述の資料1を参照）。

- No.1** スウェーデンの音楽（スウェーデン：1983.10.1）
- No.2** 普通切手／羊（フェロー諸島：1979.3.19）
- No.3** スラニア80才（スウェーデン：1991.10.5）
- No.4** 観光切手／イエータ運河（スウェーデン：1979.5.7）
- No.5** バレー（スウェーデン：1975.10.11）
- No.6** 普通切手／郵便馬車（スウェーデン：1971.9.25.5）
- No.7 & No.8** からくり人形（モナコ：1994.1.7）
- No.9** 郵便発行50年（モナコ：1987.4.23／1987.11.13）
- No.10** ロココ美術（スウェーデン：1979.10.6）

この中のNo. 1とその拡大図（資料5参照）を図1に示す。またその後、**スラニアの1,000作目**の記念として発行された小型シート（スウェーデン：2000. 3. 17）は圧倒的な力作・名品で、これを図2に示した。

■ 各国のスラニア切手

- ・スラニアの最初の作品はポーランド発行であるが、最も多くの作品を制作したのはスウェーデン。これら初期の作品には、人物にスラニア本人や母親が登場したり友人の名前が密かに小さく書き込まれたりした遊び心のある切手が数多く見られる。スウェーデン切手は原則的に切手帳の形で発行されており、その表紙も変化に富んでいて面白いが、難点は収納するのに初日カバー並みにスペースを取ること。当日の紹介でもそのほんの一部しかお見せできないが、ここではスラニアの**細密描写技術**が伺えるスウェーデンの2枚の切手を図3に示した。その他に、デンマーク、モナコ、フェロー諸島、グリーンランド、等の凹版切手を制作しており、それらについては当日の会場でご紹介する。
- ・スラニアはスウェーデンを始めとしてデンマーク、グリーンランド、モナコ等多くの国の**普通切手**を手掛けている。ここでは一例としてモナコの普通切手シリーズを図4に示した。モナコだけでもその数は83種類に上るため、各シリーズの最初期の数枚のみを示すにとどめた。
- ・スラニアには複数の国による**共同発行の切手**がある。ここでは代表例として、モナコ&アメリカから同時発行されたグレースケリー切手とポーランド&バチカン発行のパウロ2世切手（図5）を示した。共に同じ図案でありながら顔の表現を微妙に変えた異なる版であることがわかる。
- ・最初にのべたように、スラニアには多くの紙幣や肖像画の作品があるが、どうやら肖像画類（図6）は彼の趣味？として制作されたようである。

■ おわりに

スラニアの凹版切手については多くの資料・解説書があるが、私が参考にしたものを以下に示す。資料3はスラニア作品（切手・紙幣・肖像画、etc.）のほぼ完璧なカタログ。資料5は切手を拡大したセル画像を多く収めた豪華本で、今回紹介した拡大画像の多くはこの本から引用した。スラニア切手について更に詳しく知りたいときには資料6を利用するのが便利（ただし、プリントアウトするとA4用紙で数百枚、バインダーで5冊程度の量になるので覚悟が必要！）。

参考資料

1. 「郵趣」の特集記事／日本郵趣協会（1995, 2005）
2. <スラニア凹版切手100選>コレクション／郵趣サービス社
(2006. 12～2009. 8)
3. Czeslaw Slania' s Life' s Work／Lennart Berradotte
(ドイツ Graf Lennart Berradotte Studio : 1995)
4. Czeslaw Slania' s Engravings／余富栄・郭雷玲
(中国郵史出版社：2006)
5. Czeslaw Slania Catalogues of Works／Januse Dunst
(ポーランド Fisher 社：2007)
6. スラニア凹版のホームページ
<https://www.slania-stamps-heindorffhus.com/frame-〇〇/htm>



図1：スウェーデンの音楽（スウェーデン：1983. 10. 1）の小型シートと拡大図（資料5）自選No. 1の作品。

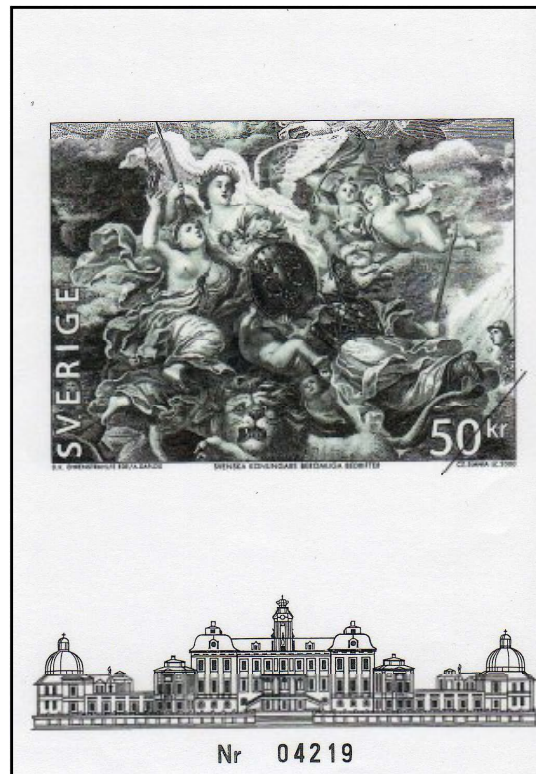


図2：スラニア1,000作目の切手（スウェーデン：2000. 3. 17）。
単色版は限定25,000部のシリアルナンバー付。



Staloryt wykonany na zamówienie Komitetu Olimpijskiego Jugosławii z wykorzystaniem motywu szwedzkiego znaczka S-147.
A steel engraving made to order of an Olympic Committee of Yugoslavia using a theme from a Swedish stamp no S-147.

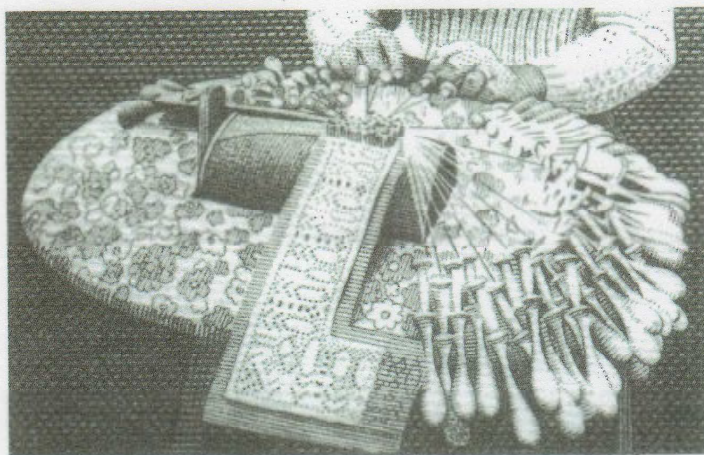
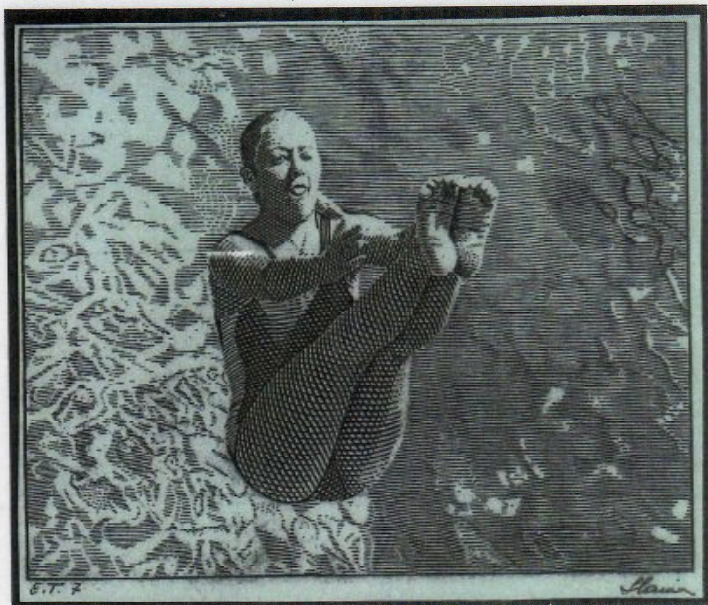


図3：女性のスポーツ（スウェーデン：1972. 2. 23）とレース編み（スウェーデン：1976. 3. 10）。拡大することにより細密な描線を描き切る彼のビュランの冴えを見ることが出来る（資料2・3）。



図 4 : モナコの普通切手 (例 : 5/22 はシリーズ全22種中の最初期5種)



図5：モナコ公妃・グレースケリー追悼（モナコ&アメリカ：1993.3.24）およびパウロ2世生誕80年（ポーランド & バチカン：2000.5.9）の切手と拡大図（資料1・2）



図6：身内や各界の著名人を切手仕立てで描いた肖像画（資料3）